



## 平成26年度 日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会



事務長 鈴木 薫

平成26年度日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会が、5月15日、16日に鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで開催され、当センターからは柳瀬院長、松下看護科長、鈴木の名が参加しました。

本協議会は、公益社団法人日本重症心身障害福祉協会が主催し、加盟する全国127の重症心身障害児者施設が参加するものです。今年度は、全国から約380名の施設長、看護管理者、事務長、都道府県の担当者などが参加しました。

15日の午前中には、厚生労働省の担当官から「障害保健福祉施策の動向」についての行政説明が予定されていましたが出張日程の都合で、当センターは、15日の午後から16日の午前までの参加となりました。

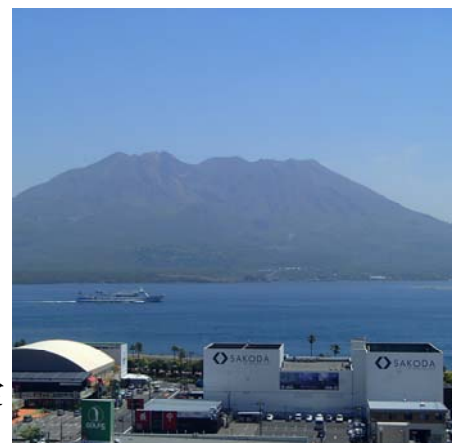
15日午後は、「公益社団法人日本重症心身障害福祉協会 “機構改革の1年”」をテーマに協議が行われました。冒頭、全国施設協議会議長の木実谷理事（島田療育センター院長）から、平成18年の法改正に伴う公益法人改革と協会として法改正に対応するために旧重心協会から現在の協会へと機構改革を図るに至った経緯、昨年公益社団法人化後、この一年間の取り組みなどについて、報告がありました。

その後、16日午前まで、協会の組織である9つの専門委員会・部会からの活動報告とそれに対する質疑や意見交換などが行われました。医療問題検討委員会からは、今回の診療報酬改

定による重症心身障害児者施設への影響と課題、国への要望の経緯などが報告され、各施設の関心も高く多くの質疑応答が交わされました。また、人材育成・研修委員会の報告と質疑を通じて、療育にかかわる看護師の専門性向上に資することを目的とした協会の認定制度への参加施設の全国的な広がりが評価された一方、審査・認定の方法をめぐって白熱した議論が交わされるなど、各委員会報告について活発な協議が行われました。

そのほか、広報委員会からは、協会のホームページを作成したので活用してほしいとの報告が、ガイドライン委員会からは、現在、「重症心身障害療育マニュアル」の改訂作業を進めており、今年12月に発刊予定との報告もありました。

なお、来年度の施設協議会は、新潟県長岡市で開催される予定です。



桜島





5-B病棟 看護師 山崎 操



SpO<sub>2</sub>測定を実施

週間天気予報では、前日が雨の予報で当日の天気も心配されましたが、5月14日(水)当日は晴天!気温は上昇しイベント日和となり、実行委員一同まずはホッと胸をなでおろしました。

センターでの「看護の日」イベント開催も今年で5回目を迎えました。

今年のイベントのテーマは「おもてなし」。内容は、例年の「健康チェック」のほか「体験コーナー」、昨年好評でした「タクティールケア」です。

健康チェックコーナーでは、血圧測定とSpO<sub>2</sub>測定(酸素飽和度)のチェック、体位ドレナージの方法を実施しました。「血圧が家で測っているより値が下がりました。少し健康になったのかな?」との感想が聞かれましたが、体位ドレナージについてはアピールが少なく、体験した方がいなかったのが残念でした。

体験コーナーでは、ポジショニングとトランスファー(移動)を体験していただきました。ご家族だけではなく職員も体験することで「有意義な体験ができました」、「体験コーナーはよかった」との感想が聞かれました。また、昨年も好評だったタクティールケア(ハンドマッサージコーナー)を設けました。タクティールとはラテン語で「触れる」という意味合いを持ち、来場者には大変人気がありました。

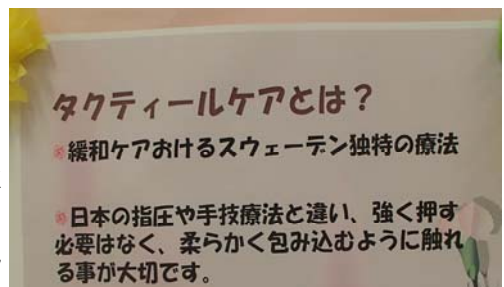
昨年・一昨年の経験を踏まえ病棟には分散して来場していただけるよう依頼したこと、開場時間を30分延長したことで来場したほとんどの方に体験していただけたのではないかと考えております。

参加数は昨年の129名を大幅に上回り、利用者のご家族、職員で209名の

参加があり、そのうち短期入所者1名の家族も参加いただき大盛況のうちに終了しました。これもひとえに家族会や指導科の広報活動協力の結果と感謝申し上げます。また、事前に混雑する時間帯を病棟に伝えていたことで職員にも周知され分散して来場していただいた結果と、深く感謝いたします。



ポジショニングを体験中



## 府中市みんなで楽しむ軽スポーツ大会

指導科 田口 美穂

5月17日（土）に、府中市民陸上競技場で行われた「第39回府中市みんなで楽しむ軽スポーツ大会」に、今年も参加しました。府中市内の障害のある方々を中心に、約700名が参加するにぎやかな大会です。府中療育センターからは、5名の利用者さんと2名のご家族が参加されました。

晴れ渡った空の下、さわやかな風が吹き、まさにスポーツ日和。紅白の組に分かれ、玉入れ、パン食い競争、紅白混合リレーなどの競技が行われました。お昼ごはんは栄養科特製のからあげ弁当です。さわやかな風の中でいただくお弁当は格別でした。

競技ごとに景品があり、さっそくパンやクッキーを味見したり、革細工のキーホルダーを車いすに下げたりする方もいて、さまざまな景品に気分が盛り上がりました。

最後の競技の紅白リレーには、センターを代表して1名が出場しました。しっかりとバトンを受け取り、大きな声援の中で、30mを力走しました。総合結果は、なんと紅白同点優勝！立派な表彰状もいただいて、笑顔の多い、楽しい一日を過ごすことができました♪



大玉ころがし



昼食の様子

## 多摩地域施設交流会に行ってきました！

通所 加藤 美佳子

5月16日（金）に多摩地域施設交流会が立川市泉体育館で行われました。

今年は、14施設102名の参加でした。当センターの通所から3名の方が参加しました。

今年は自己紹介パネルを作り、皆に自己紹介をしてから10チーム対抗でゲームを楽しみました。名刺交換をしてじゃんけん勝負をする「名刺でじゃんけんぽん」やフォークダンスなど楽しんできました。今年もAKBの登場やふちゅっしーの登場で盛り上がり、最後は皆で「WAになっておどろう！」を合唱&合奏しました。

昔なつかしのお友達にも再会でき、楽しい交流会となりました。



多摩地域施設



たま

交流会キャラクター



## 通所遠足

通所 島田 久雄

5月22日(木)・23日(金)の2日間、通所では立川の昭和記念公園に出掛けました。

当日残念ながら体調不良などで参加できなかった方もいらっしゃいましたが、両日合わせて23名の利用者と2名の御家族が参加されました。両日とも混雑もなくのんびりと過ごすことができました。

昨年の遠足も同じ場所だったのですが、今年も「まんぱく」という全国のB級グルメのお店が沢山集まる催しを実施されて、美味しく召し上がっている方もいらっしゃいました。1日目は時々小雨がありましたがひどくなることもなく、涼しい風も吹いていて気持ちのいい散策ができました。2日目は雲が多いにも関わらず、雨は降らずに太陽も沢山出ていて、日焼け止めや、日よけを使用しても日焼けした方がいらっしゃいました。

また、館内では現在大人気の「AKB48」の女の子の特大写真がたくさん飾られていて、撮影可能のパネルの前で記念撮影をしました。等身大と言うこともあり本当に一緒に写真を撮っているようで、みなさん嬉しそうな表情が見られました。



## くぬぎプラザ

都立けやきの森学園・くぬぎ分教室では、1年に6回くぬぎプラザを開催しています。

くぬぎプラザとは、くぬぎ分教室の卒業生達(卒業から3年もしくは4年以内)が集まり、音楽活動、ゲーム、散歩などを楽しむ学校開放事業の1つです。

5月17日(土)に今年度最初のくぬぎプラザが大会議室にて開催され、穏やかな天気の中、音楽活動やお散歩を楽しんでいました。

写真はその時の様子になります。

次回は7月23日(水)の開催を予定しております。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

\*-\*-\*ホームページもご覧下さい\*-\*-\*

[http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html)

[fuchuryo/index.html](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html)